

水のみち地区

新潟県新発田市

城下町新発田の中心を流れる新発田川は、新発田城の防御を主とした川として造成されたが、城下町の生活・産業・経済等にも大いに貢献した川であります。

近年、水辺はまちの中に安らぎや潤いを与え、人々が集う空間として見直されてきています。

江戸時代から続いてきた数ある歴史資産と新発田川とを有機的に結ぶことによって、新発田に新しい、それでいて懐かしい風が吹き込み、まちの魅力を感じられる”水のみち”造りを進めます。

整備内容

基本方針

- 市民から愛される水のみち
 - ・親しみやすく、豊かできれいな水が流れる新発田川の再生。
- 歴史を活かし、調和のとれた水のみち
 - ・歴史、文化を活かした風情のある川沿いの景観の整備。
 - ・点在する歴史資産や伝統文化をつなぐ「みち」の整備。



写真 整備済み魚道

魚道
生きている身近な自然を感じられる川としたい。魚種を問わず、遊泳能力に応じた遊上ができるよう整備しました。



写真 寺町・清水谷地区

河川護岸整備
両側に景観に配慮した護岸を整備します。河床はできるだけ現状を活かしたものとします。



写真 イメージ

防護柵整備
歩行者の転落防止の機能を有しながら、色、形状について景観への配慮を行います。

工程表

	過年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
魚道	■						
親水広場		■	■				
河川護岸				■	■	■	■
道路美化	■					■	■
防護柵							■



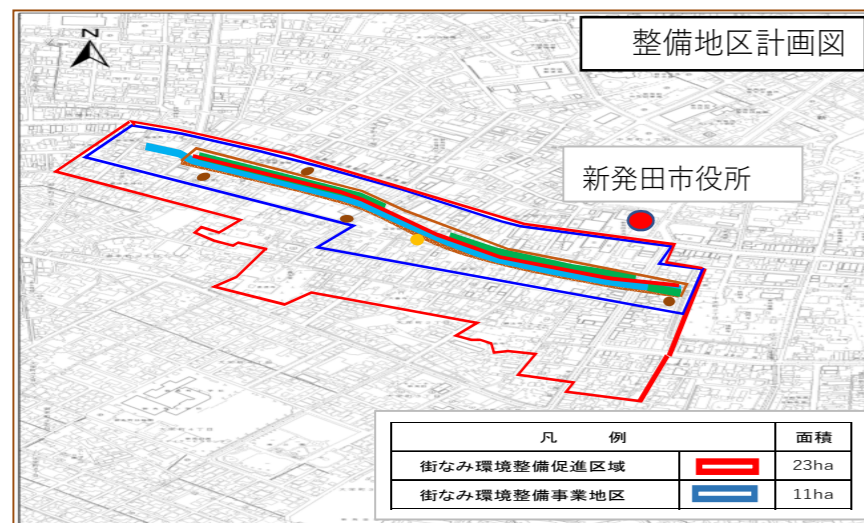
写真 武庸橋付近

道路美化
景観性に優れる舗装工法を選定しながら風情感じる整備を行います。



イメージ図

親水広場
住民のコミュニケーションや交流の場、一服処としての休憩機能を持った空間づくりを行います。



効果および今後の展開

これまで当市では、中心市街地におけるにぎわい創出に向け、まちを人の顔づくりに例え、「顔の目鼻立ち」と位置付け、「アイネスしばた」、「ヨリネスしばた」、「イクネスしばた」の三つの拠点施設を整備してまいりました。

これにより、「まちの輪郭」が整い、目鼻立ちがはっきりしたまちになりました。

輪郭が整ったまちには、血を巡らせ、顔色を良くしなければなりません。まちに流れる血液は人そのものであり、人の流れを促す「血管」としての役割を担う、寺町通りの景観整備を「歴史のみち」として、さらに、新発田川の再生を意図した「水のみち」の整備などを、行政主体で取り組んでまいりました。

まちの輪郭は行政がつくり、これから求められるのはまちの表情であります。まちの表情づくりは、民間が主体的にやって、市がそれをバックアップするような形で行なうことが重要と考えております。

この事業が「官民連携によるまちづくり」の一翼を担うものとなるよう取り組んでまいります。

まちなみ環境整備事業「水のみち地区」にご理解、ご協力をお願いいたします。

※新発田市ホームページで「水のみち」と検索していただくと同じものが閲覧できます。